

## 第三者評価結果（児童養護施設）

### 共通評価基準（45項目）

#### 評価対象Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;法人理念に基づいた基本方針が「処遇方針」として事業計画に明文化され、年度初めに職員に配布され確認をして周知の上共有されている。子どもには口頭で説明し保護者には配布をし周知を図っている。</p>		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;社会福祉事業の動向については、中央・県・市の各研修会や会議に参加し市については事業連絡会議に出席し、意見交換や資料をもとに把握している。地域の福祉計画等は特に参画していないが意見の聴取があった。施設については子どものデータや養育・支援に関するコスト等について分析し把握を行っている。</p>		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの定数や職員の問題等経営課題を明確にして、経営状況や改善課題について役員会で説明し共有を図っている。職員についても職員会議等で周知し共有化が図られている。</p>		

##### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・Ⓒ
<p>&lt;コメント&gt;施設管理者等は中・長期的なビジョン（施設の小規模化や小規模グループ化・家庭的養護の推進）を明確にして運営しているが、文書としてまとめた中・長期計画が策定されていない。今後は中・長期的なビジョンに基づいた計画書の策定を期待する。</p>		
⑤	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;中・長期ビジョンを踏まえた毎年度の事業計画書が策定され、現在地域小規模施</p>		

設・地域小規模グループケアそれぞれ2ヶ所運営され、本年度は更に小規模化、ユニット化の推進を位置づけた計画が策定されている。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉事業計画については、子ども集会や職員から聴取した意見や要望等を計画に反映するなどの取組みのうえ策定され、年月末に検証のうえ見直しをし、次年度の計画書に活かしている。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉事業計画書等はホームページに掲載し、施設の掲示板に掲示する他、保護者には配布のうえ周知し、理解を図っている。		

#### I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉年2回養育支援計画に基づき自己評価を実施して、日常の養育支援について検証し改善点を明らかにし課題解決に向けた取組みをしている。第三者評価は3回目であり、それぞれ改善策に取組み改善されている。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉改善点を職員会議等で検証し、課題について職員間で共有化を図り、課題解決のための取組みを行っている。		

## 評価対象Ⅱ 施設の運営管理

### Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉施設長は職務分担表を用い、年頭のあいさつや職員会議等で施設長の役員や責任に対して周知し職員に理解を図っている。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉施設長は職員会議や毎朝のミーティングなどの際に、職員に対し制度、法令等の最新の情報を伝えるとともに、自らの考えや施設が目指すべき方向について周知理解を図っている。		

II-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
＜コメント＞施設長は永く児童福祉に携わっており、特に養育・支援について自らこれからの児童問題について意見を持ち積極的に職員と意見交換しながら指導力を発揮している。		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
＜コメント＞職員配置や運営におけるコスト等について把握のうえ分析して業務の健全化を図るよう努めている。		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・Ⓑ・c
＜コメント＞保育士や看護師等有資格者が不足しているため、就職ガイダンス等に参加して人材確保に努めている。具体的な人材確保や定着に関する計画等については不十分である。		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・Ⓒ
＜コメント＞管理運営規程を基に人事管理を行っているが、明確な人事基準が定まっておらず、今後は人事基準の明確化を図ることを期待する。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・Ⓑ・c
＜コメント＞年2回職員面談により職員からの希望勤務や就業についての意向把握し、それに沿うよう努めている。福利厚生センターに加入し、職員の福利厚生に力を注いでいる。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	Ⓐ・b・c
＜コメント＞職員の経験や職域に応じて一人ひとりについて「職員年間計画」が策定され、それに基づき外部研修に参加している。		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・Ⓑ・c
＜コメント＞「職員年間計画」に基づき、研修に参加し、不定期であるが内部研修も実施されている。		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ・b・c
＜コメント＞職員一人ひとりについて「職員年間計画」により、経験や職域に応じて参加し、参加後は職員会議での報告やレポートなどにより、組織全体で研修内容の共有化を図っている。		

II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞実習生の受け入れは積極的に受け入れ、実習生受け入れマニュアルのもと、オリエンテーションを実施し受け入れを行っている。		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	<b>a</b> ・b・c
＜コメント＞ホームページ等により、情報公開が行われ、第三者評価受審も今回で3回目であり、受審結果も公表している。		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞税理士により月1回経営や運営についてチェックや助言・指導により適正な運営を行っている。監査は内部監査は実施しているが外部監査は未実施である。		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
＜コメント＞地元自治会の協力のもと、地域の祭り等に参加して、積極的に地域と子どもとの交流の機会を設けている。		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞ボランティア受け入れマニュアルに従い、担当者が説明を行いボランティアの積極的な受け入れを行っている。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞市要保護児童対策協議会に参加し、その意見交換や本年度より社協主催の社会福祉事業所連絡会に出席し連携を図っている。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞施設の保育室を地域交流の場として開設しているが、施設機能強化推進事業として「桔梗寮祭り」の招待や地域のゴミ拾いなど美化活動に取組んでいる。		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	<b>a</b> ・b・c

＜コメント＞行政や各関係機関の連絡連携のもと、地域の福祉ニーズに沿った事業活動が出来るよう努め、今後は地域の子育て事業の展開について検討を図っている。

## 評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

### Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞子どもの基本的人権については「体罰及び不適切なかかわりの防止規定」により日常の職員会議で確認して共通理解を図っている。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞「プライバシー保護に関するマニュアル」を作成し、職員間で共有して対応している。		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞児童相談所と連携を密にして、子どもや保護者等に対して施設の説明を丁寧に行い対応し、子どもが同意できる体制で対応している。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞保護者や児童相談所と担当職員が話し合い、子どもや保護者に説明して同意をもらって実施している。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞措置変更や地域・家庭への移行等については、児童相談所と連携して対応している。退所後も職員が家庭訪問をして継続的に支援している。		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞子どもと会議を実施して意見や要望・不満等を確認して対応している。		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ <b>b</b> ・c
＜コメント＞苦情解決の仕組みの体制は整備している。子どもはあまり表現できない場合も多く、担当職員が日常支援の中で説明して対応している。		

35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの意見・不満の受付は静養室等に掲示している。日常においては心理士や職員等で対応している。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの相談や意見について、迅速に対応することを基本としており、相談記録等も記録化されている。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;危機対応マニュアルを整備するほか、施設内外危険ヶ所チェック表をもとに確認し、子どもの安心、安全な支援に対応している。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;感染症対応マニュアルを作成し、施設内での予防や発生時の対応について取組み、医療機関と連携を図っている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;防災計画により、災害時や危機管理に対応し、備蓄も整備されている。消防署や行政機関とも連携して取組んでいる。</p>		

### Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;ケアマニュアルを作成し、標準的な支援方法について共有し、職員が確認しながら子どもの自立に向けた養育・支援を行っている。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;自立支援計画表は定期的に見直しや検討をしており、子どもの意見や状況を含め支援している。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより養育・支援実施計画が策定されている。</p>		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;児童相談所からの情報を確認し、施設内での生活状況や学校生活等の状況を確認しながら適切な支援計画が出来るよう努めている。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に養育・支援実施計画の評価・見直しを行っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;自立支援計画は担当職員のほか、専門職や関係職員が参加してのケース会議で作</p>		

成して見直しも実施している。		
Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・ <b>b</b> ・c
<コメント>子どもの記録や施設の情報共有はパソコン等を活用して確認できる環境を整備し共有化を図っている。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・ <b>b</b> ・c
<コメント>個人情報に関する取扱い規定をもとに記録の対応について取組んでいる。		

## 内容評価基準（41項目）

### A-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
A-1-(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		
A①	A-1-(1)-① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a・ <b>b</b> ・c
<コメント>職員会議の場や計画の見直しの際に養育、支援を振り返る機会を設けている。また毎年チェックリストも実施している。職員へのスーパービジョン体制が今後の課題となっている。		
A②	A-1-(1)-② 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a・b・c
<コメント>生い立ちの整理は、ライフストーリーワークの研修、伝え方の研修を職員が受け、伝えるタイミング、伝え方を児童相談所や心理士等とも連携、協議しながら、実施している。		
A-1-(2) 権利についての説明		
A③	A-1-(2)-① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・b・c
<コメント>子どもの権利に関しては、権利ノートを活用し、定期的に子供たちへ伝えている。その他人権週間等も活用しながら権利に関して考え、理解できるようにしている。		
A-1-(3) 他者の尊重		
A④	A-1-(3)-① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a・b・c
<コメント>子ども同士のトラブルには、職員が関わりながら力関係で物事が解決しないよう指導を行っている。また上の年代が下の年代の面倒を見ることで他者への配慮の心がはぐくまれている。その他外部のボランティアや老人ホームとの交流などの機会が設けられている。		
A-1-(4) 被措置児童等虐待対応		
A⑤	A-1-(4)-① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a・c
<コメント>就業規則や職員研修、定期的なチェックリストの実施を通して職員へ周知、意識		

をしてもらえるよう取り組んでいる。		
A⑥	A-1-(4)-② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;就業規則や体罰・不適切な関わりへの防止規定を設け実施している。また、職員が一人で対応しないよう体制を整えてある。子どもたちにも権利ノート等で相談窓口などを周知し、利用できることを伝えている。</p>		
A⑦	A-1-(4)-③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;被措置児童等虐待対応ガイドラインを活用し職員への周知を図っている。また発見した際の連絡体制も整備している。子どもたちへも案内文の周知や、権利ノートへ盛り込み周知している。</p>		
A-1-(5) 思想や信教の自由の保障		
A⑧	A-1-(5)-① 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;思想や宗教は尊重されており、以前海外の方が入所されていたときは宗教上摂取できない食材等食事への配慮を実施している。また、その他の子どもたちへも説明し理解を図っている。</p>		
A-1-(6) 子どもの意向や主体性への配慮		
A⑨	A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;児童相談所からの相談があつてから入所までに児童相談所と連携を図り、本人とも丁寧に関わりを持っている。入所後も心理士による面接や担当職員からの説明を丁寧に行い、施設に慣れてもらっている。また、慣れてから学校等へ行くようにするなど関わっている。</p>		
A⑩	A-1-(6)-② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子ども集会を定期的で開催し、自ら施設の改善点を伝える機会を設けている。その他、日常生活でも担当職員が関わり、課題等一緒に考え改善するようにしている。</p>		
A-1-(7) 主体性、自律性を尊重した日常生活		
A⑪	A-1-(7)-① 日々の暮らしや、余暇の過ごし方など健全な生活のあり方について、子ども自身が主体的に考え生活できるよう支援している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;地域のお祭りへの参加、準備の手伝い等へも参加する機会を設けている。また、地元自治会の育成会へも積極的に参加している。また、日常生活においても寮の清掃やお風呂掃除、食事の配膳の手伝い等主体的に関われるようになっている。</p>		
A⑫	A-1-(7)-② 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;中学生までは職員と一緒に小遣いの管理を実施しているが、高校生からは自ら小遣い帳を付け、計画的に利用できるよう促している。また高校生にはアルバイトを推奨し、金銭感覚を養う機会を設けている。</p>		



A-1-(8) 継続性とアフターケア		
A⑬	A-1-(8)-① 家庭復帰にあたって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう復帰後の支援を行っている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;家庭復帰にあたって、家庭支援専門員、児童相談所、担当職員と連携しながら、家庭復帰できるよう支援している。また、自宅へ訪問する際は2名以上で訪問し、復帰後のフォローも実施している。</p>		
A⑭	A-1-(8)-② できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;措置延長の事例はないが、高校中退の子どもを措置解除せずに、措置停止として扱い、就職に向けた支援を行っている。また、その他中退してもユースアフターや自立支援援助ホーム、グループホーム、アパート等へ繋げるよう支援している。</p>		
A⑮	A-1-(8)-③ 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;アフターケア担当職員と元担当職員で退所後も連携してフォローしている。その他、退所後も施設のお祭り等を通して施設と関わる機会を設けている。</p>		

## A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑯	A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもたちから面接の希望があった際は、心理士による心理面接を実施し、日常生活の悩み等を聞き、必要に応じてカンファレンスなどの議題にあげ、職員間で共有できるようにしている。その他児童アンケートも実施し、子どもからの施設の満足度も確認している。</p>		
A⑰	A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;複数担当制を実施し、日ごろの関わりから信頼関係を構築し、支援している。また誕生会も担当者と一緒に外食へ出かけるなど関係性を重視している。日常生活に必要なものなど担当による管理を実施している。</p>		
A⑱	A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;職員はケアマニュアルを基に支援を行い、参考図書として「この子を受け止めて育むために」を職員間で読み合わせし、職員としての意識を高めている。</p>		
A⑲	A-2-(1)-④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;園内での保育の実施や幼稚園への就園を実施している。またモンテッソリー教育の実践を行っている。今後、施設内にボルタリングが出来る場所等を検討している。</p>		
A⑳	A-2-(1)-⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;施設内の生活を通して基本的な生活習慣を確立、社会常識を習得できるよう支援を実施している。また、退所後の生活技術が習得できるよう、「巣立ちのための60のヒント」、パンフレット等を配布し、退所後の生活が円滑に送れるよう取り組んでいる。</p>		

A-2-(2) 食生活		
A⑳	A-2-(2)-① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	㊸・b・c
<p>&lt;コメント&gt;担当職員とともにメニューを決め、買い出しから実施する機会も設けられ、食事が楽しめる工夫がされている。その他外食の機会や誕生日の外食など施設外での食事の体験もできている。また外部のボランティア団体(飲食組合)の慰問なども定期的実施されている。</p>		
A㉑	A-2-(2)-② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	㊸・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもたちに定期的に嗜好調査を実施し、食事メニューの改善を図っている。また栄養士によるカロリー計算、アレルギー食など年齢、心身の状況に応じた食事が提供されている。</p>		
A㉒	A-2-(2)-③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	㊸・b・c
<p>&lt;コメント&gt;施設での行事の食事会や外食など、施設内外での食事の機会を通して食習慣を学ぶ機会が設けられている。またユースアフターとも連携してテーブルマナーを学ぶ体験もできている。買い物の手伝いやおやつ作りの手伝いなどの機会も設けられている。</p>		
A-2-(3) 衣生活		
A㉓	A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	㊸・b・c
<p>&lt;コメント&gt;衣類は個人毎に購入し、普段着、外出着などTPOに応じて選び着用することができるようになっている。また年齢に応じて職員が購入し、中高生等は適正な範囲内で自ら購入する機会が設けられている。</p>		
A-2-(4) 住生活		
A㉔	A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	a・㊸・c
<p>&lt;コメント&gt;施設内は職員、子どもたちで清掃分担を決め、きれいに維持されている。また幼児用トイレが整備されるなど、年齢、性別に応じて配慮がなされている。居室、共用スペースなど冷暖房が整備されている。</p>		
A㉕	A-2-(4)-② 子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	㊸・b・c
<p>&lt;コメント&gt;居室は2人部屋、1人部屋が用意され、年齢、状況に応じて部屋の場所等も配慮がなされている。また、より密に子どもたちを支援できるよう分園化を進めており、安心した居場所の確保が図られている。</p>		
A-2-(5) 健康と安全		
A㉖	A-2-(5)-① 発達段階に応じ、身体健康(清潔、病気、事故等)について自己管理ができるよう支援している。	㊸・b・c
<p>&lt;コメント&gt;日常生活における基本的な生活習慣については施設内での生活を通して習得できるよう、職員が声掛け見守りなど関わっている。年齢に応じて健康の自己管理が出来るよう支援している。床屋等も定期的に地域の店舗に出かけ実施している。</p>		
A㉗	A-2-(5)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	㊸・b・c
<p>&lt;コメント&gt;施設にて定期的な身長、体重の確認、健康診断の実施や嘱託医、かかりつけ医と</p>		

連携しながら健康の維持を図っている。また発達障害や持病を持つ子どももおり、心身の発育状況に応じて医療機関との連携を密にし、職員間でも情報の共有化を行っている。		
A-2-(6) 性に関する教育		
A②⑨	A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達段階に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	㊸・b・c
〈コメント〉医務室にて性に関すること性的な病気に関することなどのパンフレット、資料を閲覧できるようになっている。また性的な問題に関する相談も受けられる体制を整えている。ユースアフター主催の勉強会も実施し、学ぶ機会を設けている。		
A-2-(7) 自己領域の確保		
A③⑩	A-2-(7)-① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	㊸・b・c
〈コメント〉日用品、食器、衣類、おもちゃ、ロッカー、タンスなど個人で用意している。またそれぞれに自分の名前シールを貼り、他者と自分の物を区別できるようになっている。		
A③⑪	A-2-(7)-② 成長の記録（アルバム等）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	㊸・b・c
〈コメント〉各児童に対してアルバムが作成され、必要に応じて日ごろ振り返る機会として閲覧することができる。また退所する際に手渡している。		
A-2-(8) 行動上の問題及び問題状況への対応		
A③⑫	A-2-(8)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	㊸・b・c
〈コメント〉体罰等不適切な関わりとならないよう規定を設け支援している。また子どもたちの不適応行動については心理士による面接や日ごろの関わりから原因を分析している。中には発達障害や知的障害、PTSDによる不適応行動もあるため、小児科や児童相談所、学校など関係機関とも連携し対応を図っている。		
A③⑬	A-2-(8)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないように施設全体で取り組んでいる。	㊸・b・c
〈コメント〉子ども同士の関係性や相性、年齢、障害の有無などに配慮しながら部屋割り等を工夫している。また常に職員が把握し介入できる体制をとっている。問題が発生場合もすぐに対応できている。		
A③⑭	A-2-(8)-③ 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引取りの可能性がある場合、子どもの安全が確保されるよう努めている。	㊸・b・c
〈コメント〉事例はないものの、保護者からの強引な引き取りに対しては、警察など連携機関と協力し迅速に対応する体制となっている。		
A-2-(9) 心理的ケア		
A③⑮	A-2-(9)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a・㊸・c
〈コメント〉心理的なケアが必要な心理士による心理面接、心理療法を実施し、その他、児童相談所職員ともカンファレンス等を行い、連携して対応を実施している。		
A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等		
A③⑯	A-2-(10)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a・㊸・c
〈コメント〉学習室や一人ひとりの学習机は整備されているが、学力の向上までには至ってい		

ない。その他、受験等を考えている子どもには近くの塾に通えるようになっている。また学力の低下が著しい子どもには学校とも連携を取りながら支援している。		
A③⑦	A-2-(10)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	㊟・b・c
〈コメント〉進路に関して、最善の利益となるよう本人、保護者、学校の担任とよく協議しながら決めている。高校、専門学校、大学と進学が行えるよう児童手当の遣り繰りやアルバイトの推奨、奨学金制度の活用等自己決定した進路へ進めるよう支援している。		
A③⑧	A-2-(10)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	㊟・b・c
〈コメント〉近くの福祉施設での職場実習やアルバイトの機会を設けることで社会経験の拡大とその後の社会人生活へ円滑に移行できるよう支援している。		
A-2-(11) 施設と家族との信頼関係づくり		
A③⑨	A-2-(11)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	㊟・b・c
〈コメント〉家族とは家庭訪問を実施し、信頼関係を構築、相談等も受け付けている。また定期的に面会に来る保護者の方もおり、交流をできる範囲で実施してもらっている。また問題のない家族には施設行事等の案内を送り、参加してもらっている。		
A-2-(12) 親子関係の再構築支援		
A④⑩	A-2-(12)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・㊟・c
〈コメント〉児童相談所の方針を基に家庭訪問の実施や親子訓練室を通して家族支援を実施している。親子訓練室の利用は面会時など利用されている。		
A-2-(13) スーパービジョン体制		
A④⑪	A-2-(13)-① スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいる。	a・b・㊟
〈コメント〉中心的役割の職員がスーパービジョン研修を受け、支援の振り返り等を行えているが、職員の育成等まで繋げることが不十分となっており、今後スーパーバイザーの育成が課題となっている。		